2025年度日系社会研修　コース概要

NO.	50
所管センター	沖縄
分野	その他
研修コース名（日）	沖縄のツーリズム・ストラテジー
受入人数	10
受入時期	下半期
来日日	2026年1月18日（日）
帰国日	2026年2月21日（土）
提案団体（日）	特定非営利活動法人　おきなわ環境クラブ
提案団体 ウェブサイトアドレス	www.npo-oec.com
研修員必要資格	必要資格；観光業に携わっていること。 経験年数；実務2年以上。ある程度の現状把握が必要なため。 日本語能力；日常会話程度以上。英語ができればなおよい。
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験1年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N5
英語能力（選択）	英語でのコミュニケーション可
研修目標	自らのターゲット顧客のニーズに対応した観光商品づくりや販売について戦略案がまとまる
期待される成果 （習得する技術）	① 沖縄の観光の現状と開発戦略が理解される ② マーケティングやブランディングの基本が理解される ③ 自らが携わる観光の課題を把握し、対応策の案がまとまる
研修計画 （内容）	1.講義：沖縄観光の概要、ユニバーサルツーリズム、沖縄県における観光危機管理の取り組み、マーケティング、沖縄県の観光振興事例、沖縄の観光政策概要、沖縄観光のマーケティング・ブランディング、地域のブランディング、プロジェクトの計画・立案、西表島における観光資源管理の試み、東村観光推進協議会の取り組み 2.実習：観光における観光危機の課題、那覇市内の観光実態視察、プロジェクトの計画・立案、民泊、及び様々な観光プログラム体験 3.視察：首里城、美ら海水族館、南部戦跡など 4.演習：プロジェクトの計画・立案 5.発表：Country & Jobレポートの発表と討議、プロポーザルの発表
本研修実施の意義 中南米の日系社会への裨益効果	本研修では、沖縄県内で実践されている観光の多様化、SDGsの視点からユニバーサル観光や自然資源を保全活用する観光開発の在り方、地域資源を生かした商品づくりやマーケティング、そして観光危機管理について、レクチャーと体験や調査を組み合わせてバランスよく学ぶ機会を提供し、安全・安心で地域振興につながる観光に携わる日系人を育成する。また、旅行社や観光従事者との交流や意見交換を行い、日系ネットワークを通した観光ビジネスに繋げられる機会を提供する。そして、自らの課題の分析やプロポーザルの作成のプロセスでは研修員どうしの対話・議論の機会を設けることで仲間意識を高め、帰国後も継続するネットワークの形成を促す。また、日本文化から離れつつある世代においても、研修に参加することによって自らのルーツを再認識することができる。自国で廃れ行く日本文化を再活性化・アップデートした観光プログラムを開発することにより、日系社会の文化継承に寄与することができる。
応募希望者への特記事項	